

3 / 25

友引 水

旬のもの 白子(しらす)

旬は春です。毎年3月下旬になると各地の漁場でシラスの水揚げがはじまります。「しらす」は、主にイワシ類の稚魚の総称です。「しらす」の商品名は、成長段階や加工法の違いによって、かえりじゃこ、ちりめんじゃこ、たたみいわしなどに変わります。しらすはアクもクセもなく、骨や内臓も気にすることなくすべて食べられる食材です。捨てる部分がない分、栄養価もおおのずと高くなります。また、『小皿1杯分のしらす干しでカルシウムが1日分摂れる』と言われるほどカルシウムが豊富にあります。

電気記念日

1878(明治11)年、東京・銀座木挽町に開設された中央電信局の開局祝賀会が現在の東京大学工学部で開かれ、式場の50個のアーケ灯が点灯されました。日本で初めて電灯が灯された日を記念して、日本電気協会が1927(昭和2)年に記念日として制定しました。

ドラマチック・デー

1956(昭和31)年のこの日、後楽園球場で行われたプロ野球の巨人対中日戦の9回裏の攻撃で、巨人の樋笠一夫選手が史上初の代打満塁逆転サヨナラホームランを打ったことに由来して制定。代打の切り札として活躍した樋笠一夫選手は、この翌年に現役を引退しました。

3 / 26

先負 木

旬のもの 味醂(みりん)

焼酎に、米麴と蒸したもち米を混ぜ、発酵、分解させてつくったもので料理に風味やコク、つやをつける調味料として和風料理に欠かせません。みりんは、日本特有の調味料とも思われがちですが、戦国時代に中国から伝わったとする説があります。旬はとくになく、一定の酒精、糖分を含んでおり、砂糖よりも高級な味がします。芳醇な香りもあり、普通のみりに、さらに焼酎を加えてアルコール度を上げたのが「直しみりん」といわれ、そのまま飲みます。みりんの用途は広く、そばや天ぷらのつけ汁、蒲焼き、照り焼き、煮ものなどに用い、イワシ、サバ、サンマをみりんにつけて干したものが、みりん干しです。

楽聖忌

数多くの交響曲を作曲し「楽聖」と呼ばれたドイツの作曲家ベートーベンの命日(1827年)。当時、葬儀は2万人が駆け付けるという異例の規模となったそうです。

犀星忌

1962(昭和37)年のこの日、詩人や小説家として知られる室生犀星が肺がんのため享年72歳で亡くなりました。高村光太郎とともに口語自由詩を完成させた人物だといわれており、現代の詩人にも多大な影響を与えています。お墓は、故郷である金沢の大東寺にあります。